

第4章 施策の展開

重点的取組

① 安心して出産できる環境づくりを推進する

N0	主な取組み	取組みの概要	担当課
1	こども家庭センターでの相談支援の実施	妊娠期から育児期までの様々な相談に応じ、母子保健サービス等の支援や情報提供を行います。また、家庭の状況等に応じて、支援プランの策定を行います。	子育て相談課
7 年度 実績	児童福祉機能を担う職員を主な担当として新規 14 件、更新 111 件のサポートプランを作成し、母子保健機能を担う職員を主な担当として新規 543 件、更新 16 件のセルフプランを作成し、各家庭の状況に応じた支援を行いました。		

② 乳幼児を健やかに育てられる環境づくりを推進する

N0	主な取組み	取組みの概要	担当課
2	地域子育て支援拠点事業の推進	中学校区ごとに実施する地域子育て支援拠点相互の連携を図るとともに、各拠点の質の向上に取組み、身近な地域で子育ての不安が解消できるよう事業を実施します。	こども育成課
7 年度 実績	地域子育て支援拠点相互の連携及び質の向上を図るため、情報交換会を令和7年10月6日に実施しました。交換会では、「来館したことのない親子へのアプローチの仕方」や、「新規来館者がどのように施設を知ったか」といった、利用促進に向けた課題や各施設間の情報共有を行いました。 令和7年度の全拠点の延べ利用者数は 35,049 人（令和6年度 33,588 人）でした。今後も身近な地域で子育ての不安が解消できるよう事業を実施します。		

③ 幼児教育・保育の充実を図る

N0	主な取組み	取組みの概要	担当課
3	幼児教育・保育の一体的な運営の推進	多様化する教育・保育ニーズ、低年齢児の待機児童対策や少子化等の課題に対応するため、教育・保育が一体となって取組む環境の整備・運営体制を推進します。	保育幼稚園課
7 年度実績	令和9年4月の開設に向けて（仮称）成岩こども園建設事業について、駐車場確保のため新たに隣地を取得するとともに、令和7年12月より建設工事に着手しました。また、機構改革により幼稚園・保育園を同じ部局にすることで教育・保育のさらなる一元化を目指します。		
4	待機児童対策の推進	年度途中に待機児童（特に0～2歳児）が発生する状況を踏まえ、低年齢児の受入れ枠の拡大・充実を図ります。	保育幼稚園課
7 年度実績	令和7年4月の市立高根保育園の民営化に伴い、低年齢児の受入れ枠を17名分（0歳児6名・1歳児5名・2歳児6名）拡大しました。また、令和7年5月に新たな小規模保育事業所の開設に伴い、低年齢児の受入れ枠を19名分（0歳児3名・1歳児8名・2歳児8名）拡大しました。		
5	公民連携の推進	教育・保育ニーズの多様化に対応するため、特徴ある教育・保育を実施する私立保育園への移行を推進するなど、保護者が選べる教育・保育を提供します。	保育幼稚園課
7 年度実績	令和7年4月に市立高根保育園を民営化したアイグラン保育園高根が開園しました。また、令和2年3月に策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」について、本来の推計を超える少子化の進展に対応するため、令和8年3月に本計画の一部を改定しました。このことより、民営化を後期から前期に変更するとともに、1園ごとに民営化するのではなく、複数の保育園を統合して民営化するなど、民営化の実施を加速します。		
6	園舎の老朽化対策	老朽化した園舎について、計画的に建替・大規模改修を行うことで、園児の保育環境の整備を図ります。	保育幼稚園課
7 年度実績	維持・管理を主目的とした補修工事を実施しました。（岩滑こども園始め5園の空調機更新工事：12,320千円、半田幼稚園の職員室放送設備改修工事847千円）		

N0	主な取組み	取組みの概要	担当課
7	外国籍児童への支援体制の整備	外国籍児童への支援や保護者への相談体制を整えます。	保育幼稚園課
7 年度実績	令和6年度より公立保育園に導入しているWEB上の同時通訳サービスを活用し、外国籍児童及び保護者との円滑なコミュニケーションを図りました。また、外国籍児童が多い園を拠点に、ポルトガル語及びベトナム語の通訳を月に2回ずつ派遣することで、保護者案内書類の翻訳や保護者との面談により外国籍児童及び保護者が安心できる環境を整えました。		

④ こどもの教育や育成支援の充実を図る

N0	主な取組み	取組みの概要	担当課
8	教員・支援員の拡充	児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教員・支援員の拡充を図ります。	学校教育課
7 年度実績	市内小中学校に学校生活支援員を配置しました。 小学校支援員：38名配置 中学校支援員：15名配置 また、県の配置に加えて市独自で2名の専科教員（英語・音楽）を採用し配置した。		
9	様々なニーズに対応した教育	支援を必要とする児童生徒に対して、適切な支援を行うことができるよう、支援員を配置することにより、学校生活の安定及び教育環境の向上を図ります。	学校教育課
7 年度実績	特別支援学級補助員を配置しました。 小学校：29名配置 中学校：5名配置 また、医療的ケア児等支援のため看護師2名、介助員2名を配置しました。		
10	外国籍児童生徒に対する日本語教育などの積極的支援	初期の日本語能力の習得を支援し、学校生活に早期適応が図れるようにします。また、日本語習得レベルに応じた日本語教育が受けられるようにします。	学校教育課
7 年度実績	市内小学校に以下のとおり日本語初期指導教室を設置しました。 1学期：さくら小学校 2学期：横川小学校 3学期：さくら小学校		

NO	主な取り組み	取り組みの概要	担当課
11	いじめや不登校等対策の推進	いじめや不登校等の課題を抱える児童生徒に対する相談支援体制の充実を図り、課題の早期解決に努めます。	学校教育課
7 年度 実績	SSWの3名配置、校内教育支援センターI ルーム（半田中学校）を設置し、児童生徒に対する相談活動の充実を図りました。		
12	学校施設の老朽化対策	老朽化した学校施設の更新等を進め、学習環境の改善を図ります。	学校教育課
7 年度 実績	校舎の外壁改修等改修工事を始めとした予防保全工事を実施し、児童生徒の安全確保と教育環境の改善を図りました。		
13	こどもが安心・安全に過ごせる居場所の環境整備	小学校の更新等に合わせ、小学校敷地内にこどもの居場所となる施設を整備し、放課後の安心・安全な居場所づくりに取り組みます。	こども育成課 学校教育課
7 年度 実績	【横川小学校】 令和7年4月から放課後児童クラブ（学童保育）1支援単位（3～6年生 25人（令和7年4月1日時点登録児童数））を開設しました。 また、新たな放課後の児童の居場所「放課後ひろば」を令和7年4月から開設。利用登録児童数は272人（令和8年3月末時点）で、20～30人/日の子どもたちの放課後や土曜日の自由に活動できる場を整備しました。 【亀崎小学校】 令和8年4月の放課後児童クラブ（学童保育）および放課後ひろばの開設に向けて、学校教育課や建築課をはじめ、小学校、設計事業者、放課後児童クラブ運営事業者等と連携し、施設面・運用面の調整や情報共有を行いました。 なお、放課後ひろばの事前利用登録児童数は238人（令和8年3月末時点）となっています。 【乙川東小学校】 令和11年4月の開設に向け、市民協働課主導のもと地元説明会を5回、「地域のみらいミーティング」を5回開催。小学校区域内の関係者の交流促進が図られるよう取り組みました。		

⑤ 安心して子育てが行える環境の充実を図る

NO	主な取組み	取組みの概要	担当課
14	「オンライン子育て相談窓口」の充実	LINE から子育ての不安や疑問、悩みなど気軽に相談申込みができ、様々な相談内容に対応します。	子育て相談課
7 年度 実績	令和7年度は2件の相談があり、当日もしくは翌日中には連絡を取り対応することができました。今後も、電話、メール、関係機関からの情報提供等とともに、気軽に相談できる窓口の一つとして活用していきます。		
15	児童発達支援センターの機能の充実	こどもの育ちと個別のニーズを共に保障した上でインクルージョン推進の観点を念頭にこどもや家族の支援に取り組みます。	子育て相談課
7 年度 実績	計46回、専門職チームが地域の保育園や幼稚園等を巡回し、職員に対して助言等を行うことで、適切な支援の確保に努めました。また、作業療法士を新たに常勤配置し、つくし学園内での感覚統合訓練を開始したほか、保育所等訪問支援事業に同行し、作業療法の観点から助言等を行いました。		
16	個別の教育支援計画に基づく教育・保育の実施（特別支援教育の充実）	特別な教育支援を必要するこども一人ひとりに合わせ、適切な指導・対応を行います。	学校教育課 保育幼稚園課
7 年度 実績	【学校教育課】 子どもの状況を把握し、適切な教育支援を行うことを目的に、教育支援委員会を実施しました。教育支援委員会2回 作業部会2回 【保育幼稚園課】 教育時間及び保育短時間認定の子どもについて、必要な人数の加配教諭・保育士を配置し、子ども一人ひとりに合わせた支援の充実を図りました。		
17	個別の教育支援計画を活用した幼保小中の連携強化	切れ目のない適切な指導・対応を行うため、幼保小中で情報共有を図ります。	学校教育課 保育幼稚園課
7 年度 実績	【学校教育課】 特別支援教育担当者及び関係機関との情報共有や意見交換を実施するふれあい協議会（半田市特別支援教育連携協議会）を4回開催しました。 【保育幼稚園課】 就学前の学校見学の際に個別の教育支援計画を持参し、早い段階から学校と情報共有を図りました。また、園と学校とで対面で情報共有を行うなど、丁寧な引継ぎを行うことができました。		

⑥ こどもの見守り、子育てにやさしい社会の形成を推進する

NO	主な取組み	取組みの概要	担当課
18	子育て家庭の負担軽減につながる手続きの見直し	デジタル技術を積極的に活用して、子育て家庭などが抱える様々な手間や負担を少しでも軽減し、こどもと向き合う時間を増やしていくことができるよう、子育てをより楽しく安心、便利なものにできる取組みを進めていきます。	全課共通
7 年 度 実 績	【こども育成課】 子育て支援団体とともに子育てに関する多くの情報を発信し、子育て家庭への情報提供をすることを目的とした Web サイト「半田市子育て応援サイト はんだっこネット」を運営しています。このサイトでは、本市の様々な子育て支援の取り組みをわかりやすく紹介するとともに、市内で活動している子育て支援団体の活動内容や情報を紹介しています。		
	【子育て相談課】 妊娠届出と親子健康手帳交付の予約ができ、子育て支援に関係する施設や市内の医療機関などの検索、予防接種のスケジュール管理、成長記録などに対応した親子健康手帳アプリ（HA☆DE★C0 はんだで子育て）を導入しています。子どもの月齢に応じた健康診査や予防接種の勧奨案内、育児教室やイベントのお知らせ等の情報をプッシュ通知することで、利用者の利便性の向上を図ります。		
	【保育幼稚園課】 保育園等への入所選考事務を円滑に行うため、AI を活用した「保育所入所 AI 選考システム」を導入し、入所選考に係る時間を短縮し、申込者への入所決定通知を 11 日分早めることができました。このことにより、保護者の仕事復帰や育児休暇の延長といった勤務先との調整の円滑化に資することで、市民サービスの向上を図りました。		
	【学校教育課】 保護者連絡ツールアプリ「tetoru」により、これまで紙のチラシで配付していたイベント情報などを教育委員会がアプリで一斉配信できるようにし、保護者が大切な情報を見落とさず、いつでも確認できるようにしました。		

⑦ 仕事と家庭の両立を支援する

NO	主な取組み	取組みの概要	担当課
19	保育、一時預かり、病児保育、ファミリー・サポート・センター事業、放課後児童健全育成事業等の多様な預かり事業の整備・推進	働く保護者の多様なニーズに対応した預かり事業を整備します。	こども育成課 保育幼稚園課 学校教育課
7 年 度 実 績	【こども育成課】 ○放課後児童健全育成事業（学童保育） 13小学校区で20クラブ（31支援の単位（クラス））を開設することで、1,186人の登録児童が在籍し、保護者の子育てと就労の両立支援に寄与しました。また、クラブ職員の資質向上及び障がい児等の受け入れ促進に努めることで、障がい児等の受け入れ人数は、令和6年度の64人に対して令和7年度に71人と増加しています。 ○子育て支援センター 乳幼児一時預かりを7時半から19時まで、年間346日実施し、働く親のニーズに対応しました。 （利用保護者：1,231人、こども：1,456人） ※延べ人数 また、両親の離婚等により離れて暮らす親と子の再会をサポートする制度（親子交流（面会））を行っています。 （利用親子数：2親子・利用回数：親子A・・・9回） 親子B・・・3回） 【保育幼稚園課】 令和7年4月より、民営化したアイグラン保育園高根において、新たに一時保育（非定型的保育事業・私的保育サービス事業）を開始しました。また、病児保育では開所時間を30分拡大し、令和8年4月より7時30分から預かりが開始できるよう新たに看護師を雇用するとともに、ホームページや市公式LINEで周知を行いました。さらには、令和8年4月より「こども誰でも通園制度」を開始できるよう3か年実施計画及び当初予算へ計上するとともに、条例や規則を制定し、ホームページや市報で周知を行いました。		